

第43回九州芸術祭文学賞 表彰式・記念対談

日本人はいかに生きてきたか

～歴史・時代小説に見る日本人～

日本人はどのように生きてきたのか。日本人の心性とは…。歴史・時代小説の旗手である安部龍太郎さんと諸田玲子さんが、歴史上の人物を読み解き、日本人について、また激動の時代にふさわしいリーダー像について考えます。歴史・時代小説の魅力についても楽しく語り合います。



■安部龍太郎さんプロフィール

福岡県八女市(旧黒木町)生まれ。国立久留米工業高等専門学校卒業。図書館勤務を経て小説家に。1990年『血の日本史』で注目され、「隆慶一郎が最後に会いたかった男」という伝説が生まれた。2005年『天馬、翔ける』で中山義秀文学賞受賞。2013年『等伯』で第148回直木賞受賞。他の作品に『彷徨える帝』『関ヶ原連判状』『信長燃ゆ』『恋七夜』『下天を謀る』など。

第148回直木賞受賞
安部龍太郎さん

諸田玲子さん

■諸田玲子さんプロフィール

静岡市生まれ。上智大学文学部英文科卒。外資系企業勤務を経て、向田邦子氏、橋田壽賀子氏、山田洋次氏らの台本のノベライズや翻訳等を手がけた後、作家活動に入る。2002年『あくじゃれ瓢六』で第126回直木賞候補。2003年『其の一日』で第24回吉川英治文学新人賞受賞。2007年『奸婦にあらざ』で第26回新田次郎文学賞受賞。他の作品に『幽恋舟』『お鳥見女房』『遊女のあと』など。



日時 **2013年3月18日(月)**

12:30開場 13:00～表彰式後、記念対談 16:00終了予定

※表彰式からご参加ください。

会場 **宮崎観光ホテル** (宮崎市松山1-1-1)

定員 1,000人(先着順)

入場 **無料**

*当日先着50名様に「文學界」4月号(第43回九州芸術祭文学賞佳作・曾原紀子さんの「青いうぶ声」掲載)をプレゼントします。

主催 (財)九州文化協会、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、北九州市、熊本市、西日本新聞社、福岡文化連盟

共催 (公財)宮崎県芸術文化協会、宮崎日日新聞社

◆申し込み◆

ご希望の方は、往復はがきの往信用裏面に住所、氏名、年齢、同伴者がある場合はその氏名と年齢を、返信用表面に申込者のあて名を明記して下記までご応募ください。

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館12階 (財)九州文化協会 ☎092(771)0188